(一) 昭和29年12月15日（水曜日）第1375号　常磐毎日新聞　（昭和25年7月9日第三種郵便物認可）

夕刊 常磐毎日

二発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番
編集兼印刷発行人 吉田甫

衣料品の店 三都屋 三都屋 三都屋 目20 丁12 市ニ17 平電

門松に盗伐厳禁

徹底した徳川時代の森林愛護

笠間藩の勧農書發見

お正月を控え今年も門松自粛運動が全国的に推し進められているとき、平市南町看坂店酒井賞氏(四〇)方から「門松、水松の古礼は良いが十年以上の松、幹木の伐木は一切禁止、また正月の門松や水松は盗伐しないこと」と言う徳川時代の森林法律書「勧農方心得書」が発見され、森林の愛護の不徹底から度々水害の浮目に見舞われている現代への厳しい警告書ともなりまた、貴重な資料ともなっている。

この「勧農心得書」は徳川幕府中でも最も森林を愛したと言われる笠間藩のもので、酒井氏の祖父に当る酒井政令氏が笠間藩に仕え、神谷陣屋（現在の平市草野小学校）に勧農方として勤めているとき入手したものらしく政令氏のサインで「門外不出、家宝」と記されており、このほど倉庫整理中に初めて発見したものだと語っている。

その内容は大要十二カ条から成っており、門松、水松などの飾りは正月の古礼として認めるがこのための盗伐や幹松の伐木は厳禁、さらに盗伐、無届伐木や山火事を起した者には厳罰を規木後はすぐ植樹すること▽門松、水松の古礼は良いが、十年以上の松、幹木の伐木は一切禁止、また正月の門松は盗伐しないこと、などがある。

門松自粛に一石

国土緑化に貴重な資料

定、その一方森林愛護者には苗字帯刀を許すなど住民の森林愛護精神を培い、天災防止に万全の処置を施している点など、現代の通り一辺な国土緑化運動などとは比較にならない徹底振りを偲ばせている。

主な内容を拾つて見ると▽松竹等千本以上植えて献上する者は苗字をご免▽一万本以上は苗字帯刀を許す▽高山といえども精々木を植えるよう努力すること▽山は大木がないときは洪水の恐れがあり、さらに日照のときも水掛が悪く百姓が難渋するから伐木後はすぐ植樹すること▽門松、

市職組の要求難航

平市役所職組では「年末手当二カ月分要求」「給与の凸凹調整」など五項目を決議、代表斗争委員ら十名は十四日午前九時から諸橋市長、伊藤助役並に佐藤総務部長らと交渉、収入役は「二百万程度の財源は十分ある」と言明して組合側に水を注げば、市当局はこれに対して「いくら財源はあつたにせよ、理由なしになやみには使えない」と断固たる態度を表示して組合側と対立、更に細部に亘つては「考慮する」とのみほのめかす程度の見解を述べて注目を集めていた。

なお、組合側は同交渉に当り郡山市役所が同職組に対し一、五割支給の内諾を通告した、という事実を大きく取り上げ、同問題を唯一の交渉前例として市当局に再度交渉に及んでいるものであり、同事実から市当局は「事実決定すれば一応考慮の上それにならつて支給しなければならない、とも考えている」と意向を述べている。

明春二月に發足

南赤井の平合併決る

南赤井の平市合併に関する市会協議会は、十四日午後一時から赤井側代表者らを混えて市議事堂で開催、種々協議の結果合併発足期日を明春二月十一日と決定した、これにより赤井村では十五日村会を集招、南北赤井の分村合併を正式に決定した。

平市側では明十六日午後一時から臨時市会を開催正式合併を議決して、直ちに十二月県会に間に合うように手続をとることになつた。

増えた休退学

授業料の免除も考慮

部では実情調査に乗り出した。

炭砿不振の度は予想以上に深刻で、従来比較的恵まれた家庭の子女らが高校に入学している実情だが、不況の深刻さはここまで押寄せて来たものと思われ、十一月から十二月初旬かけて炭砿勤務者の子女の退学が相つぎ郡校長会に報告されている数だけでも、内高、平工各三名、湯高、小名浜高各二名、その他を合せると実に二十名を越している。

父兄にしてみれば、子供の将来を考えて、その日の糧にこと欠きながらも通学させたいのが親心なのだが、それすら支え切れないほどドン底の生活に追い込まれた実情であるという、現在郡内には十三の高校があるが、在学生中炭砿従業員の子女が三〇%平均となつており憂慮されている。

不況版 ヤマの学校

不況の嵐に相次ぐ休廃山に年の瀬を迎えて、益々窮迫に追込まれている炭砿街は、欠食児童や、娘の身売りなど悲話は数え切れない有様だが、最近炭砿関係町村の高校生らが支え切れない貧困生活から「退学休学」が目立つて増加しているというので、県教委、教組支

春蚕の増産計画

平市で桑園協議会

平市農務課では明年度における繭の増産計画に対応する桑園能率の向上と蚕桑技術の指導を図るため来る十七日午後一時から平市役所会議室に於て桑園能率の向上を図る協議会を開催することになつた同農務課では同協議会の開催に当り特に桑園関係市町村長、農務担当者を始め蚕絲業団体蚕農協組などのほか市内外の蚕業中堅青年ら多数の出席を要望、「市の蚕業振興方策」について主に ▽桑園の立方、▽桑園の

寒河江氏表彰

常磐署では同市上湯長谷字長倉採炭夫寒河江米穂さん(四五)を人命救助で近く表彰する、

寒河江さんは去る七日午後一時三十分ころ二番方に出勤途中、常磐炭砿磐崎砿病院裏のタメ池に転落して溺死寸前にあつた上湯長谷字長倉採炭夫石井等さん(四五)の長女久子ちゃん(四つ)を

四市の議長会

平市を始め内郷、常磐、磐城の四市議長協議会は来る十八日午後一時から磐城市役所会議室で開き、先進都市平市の議会運営を参考とした各三市における◆明年度議会費の基礎的予算構成につき協議される。

なお、このほか各四市が協議事項を持ち寄ることになつている

御存知ですが……△

▽……本社のXマスプレゼント……△

「からたちの花が咲いたよ　白い白い花が咲いたよ　からたちのとげはいたいよ　青い青い針のとげだよ」

▽右の三題をお解りの方は葉書で番号と答を記入して本社懸賞係宛お送り下さい、

▽正解者三十名様に限り映画「からたちの花」に御招待申上げます（正解者多数の場合は抽せん）　▽なお正解者三十名の中から更に抽せんの上四名様にはクリスマスプレゼントとして次の商店賞を贈ります。

▼鈴藤賞「玉手箱」　▼市川賞「デコレーションケーキ」
▼森下賞「クリスマスセット」　▼武田陶器賞「おたのしみ」

▼〆切十二月二十三日　▼発表十二月二十四日

宛先 本社懸賞係

懸賞募集

ラジオ古山

出生 死亡

出生＝会川幹夫次女一枝、坂本長女かよ子四軒町、長沢庄蔵次男英典、丸山喜三長男茂伸

死亡＝ネギ町無職前田勉(三)

天気予報

明日＝西よりの風、日中一時南風で大体好い天気午後には一時雲がひろがるところあり。

海上＝今晩はまだ風波が立つが次第に治まる、明日も風波が出る

内郷の婦人青年学級

内郷市公民館では市内婦人、青年各学級の十月後期の日程を次の通り決めた。

▽十七日、午後六時から桜井婦人学級「郷土史について」講師赤土光栄氏▽二十七日御厩婦人学級「社会婦人学級について」講師石城教委出張所小松主事、▽ナトコ映写会（午後五時から二十日白水第三部落館、二十一日同第二、二十二日同第一、▽二十五日白水青年学級、▽二十八日高坂青年学級、「公民としての青年」講師は赤土光栄氏。

第30回 宝定期預金当籤番号表

等級	割増金	組	当せん番号
特賞	10万円	5組	2091
1等	5、000円	5組以外の組	2091
2等	500円	各組共通	1509 2166 1422 5556 5426
3等	100円	下三桁	235 581 798
4等	25円	下一桁	4

割増金は12月20日からお支払致します　上記割増金の外に満期日には一口に付20円の利息をお支払致します

株式会社 大東相互銀行

電話番号変更お知らせ!!

毎度御引立を賜り有難う御座居ます
今般左記の通り十二月十五日より局番を新設し本社電話番号一部改廃いたしましたので御知らせ申上げます

本社（交換台経由）二二〇〇番（一六二九番は廃止）
タクシー部（大町）三四三番（一〇七六番は廃止）
資材部（五色町）三二二番（九八五番は廃止）
観光課（本社）二二〇〇番

昭和廿九年十二月十五日

常磐交通自動車株式会社

カバンなら ヨシダ TEL.981

あなたのフレンドに贈るXマスケーキ ◉予約期間中は1割引 22日迄 パンと洋菓子 東京堂 平市小路 電話898番 平市才槌町 電話1152番 平市田町 電話0911番 本店 支店

明るい大広間 …御利用下さい… 新年會 忘年會には 割烹 谷口 平市2丁目 電8番

亡父伊藤浅之助 儀送の際は御多忙中にも拘わらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜わり誠に有難く存じ御鄭居ました 一々拝趨御礼申上ぐべき処略儀乍ら紙上を以つて謹んで御礼申上げます

昭和二十九年十二月十五日

平市北白土 伊藤東一
嗣子 伊藤清治
友人代表 木村正一
外親戚 関内一太郎
諸橋久一

Xマスの御供に是非！ デコレーションケーキを 予約期間中はサービス 二十二日迄一割引 パンとケーキ 市川パン店 平市田町本店 電九三六 〃 支店 電一八二六

忘年会 新年会 如何ようの御相談にも応じます ◎是非御利用下さい… 湖畔 平市大町 電637

内科 平市田町 清水醫院 電話二三八番

科学的 眼檢 レフラクト・メーター設備 ◉乱視レンズ即日調整致します 眼鏡専門 松本 平市一町目 TEL1851

銘菓 平餅 松月堂

現金十五万圓消ゆ
平局向け赤行李破らる

十四日午後四時五十分三阪発平行常磐交通バス＝運転手吉田孝夫さん(三三)＝車掌松本二三枝さん(三三)＝が三阪郵便局から平郵便局に向け輸送を託された赤行ノウが何者かに、カミソリ用のもので切り破られ、中から千円タバで現金十五万円が盗難にあつているのを、平局に到着後通信事務員猪狩精一君(四三)が開封したあとで個数が不足しているところから発見大騒ぎとなり、平署に届出る一方福島本局に連絡監察官の出張を乞い取調べているが平署でも直ちに非常招集を行い夜を徹して調査を進めているがまだ犯人の目星もついていない

盗難にあつた十五万円は三阪局に預けてあつた支払準備金を差引いた過剰金の残額全部であり、輸送途中では誰も気がつかなかつたと言つており、バスは運転手吉田さんが運転台側の工器箱の上に赤行のうをのせて発車し、途中で客が一時にたて込んで十人位運転席の後に立ちふさがるほどだつたと言われ、およそ一時間半で平に到着し、車掌の松本さんがバス本社の事務員に引継ぎをしたのが午後六時半ごろだつたという。

それからおよそ一時間後の同七時半頃平局から運送員の木村義男さん(三二)が受とりに来て持つて行つたもので、それを通信事務員の猪狩さんが開封後、個数がたらないので調べてたところ盗難に会つたことを発見したもの、平署鑑識課では今朝に至つて指紋のてき出に成功したもようである。

犯行は、「三阪局からバスに積込まれる前か」「バスの中で切りとられたか」「バス会社の事務室内での一時間余りの空白時間内か」「バス会社事務室から局にもち込まれ、開封発見までの間か」幾段階にもわけられて考えられるので犯人検挙までは仲々困難を極めるものと思われる。

間平一坂三
内情に通じた者？
平署非常手配で追究

植田農委会

植田町農業委員会では十五日午後一時より山田村第一小学校講堂で農地集団化事業調査月間に伴う懇談会を開催した。

たのまれた服を入質

内郷市宮町竹の中三十日雇土工高山宗弘(三二)は去る七月二十六日午後三時ころ宮町常磐炭砿通勤電車大騒ぎとなり、平署に届出る一方福島本局に連絡監察官の出張を乞い取調べているが平署でも直ちに非常招集を行い夜を徹して調査を進めているがまだ犯人の目星もついていない

きょうの公判一件

◆十月十四日夜錦町某女(三二)を呉羽化粧品工場に連れこみ、強かんしたうえのどに皮下出血を負わせた他七件の窃盗を働いた錦町大字ぬか塚鉱修理工石崎秀(三八)にかゝる強かん致傷第二回公判は十五日午前十時三十分から地裁平支部に於て大竹裁判長、中村検事、市井弁護人立会いで開廷、

中村検事から証こ調べがあり同四十分閉廷、次回は一月一九日午前九時から証人尋問が行われる。

◆去る十一月十七日午後七時ころ赤井村定田地内県道上に於て平市中岡町精米業大谷重次郎さん(五〇)に対しジヤツクナイフで左けい部二ケ所を切りつけ全治三カ月の重傷を負わせた、好間村大字愛谷字愛谷宇花輪無職星吉男(三三)にかゝる強盗殺人未遂第一回公判は地裁平支部に於て大竹裁判長、中村検事、猪狩弁護人立会で開廷、

中村検事から証拠調べがあり閉廷、次回は一月十二日午前九時から開廷。

臨時市会十六日に

平市では南赤井合併に関して、十四日午後一時から市会協議会を開催、合併の時期など細部について諮議し、十六日臨時市会を招集して正式に取決めることとなつた。

火の見櫓
内郷で完成

内郷市消防団本部に見事な「火見櫓」がお目見えした、

一昨年秋に同本部前の木造望楼が老朽のため姿を消して以来、消防にはなくてならぬ火の見櫓を失つたまゝ現在に至つたもの が十二月初旬に工費五十一万円相当を返品せず同町滝坂本屋貸店に五百円で入貸し、現金を菅服し相当を受けている。

會長に小野寺氏
平十六区青年会結成

平市十六区＝北白銀、柳町、四軒町、梅香町＝に居住の青年六十余名が参集、区内の親睦融和を図り品性陶冶を増進して区の文化向上に協力することを目的として去る十一日午後七時から平二小講堂に於て市十六区青年会を結成、発足なお同青年会の結成式後第一回総会を開き役員を選任した、

役員は次の通り、

▼会長、小野寺晃、▼副会長、浅田富美男、▼庶務片平憲一、▼会計、佐藤博、岡崎輝男。

一万円寄附

常磐市議臼石初太郎氏は故母堂サダ刀自の遺志により金一万円を常磐市教育委員会に寄附した。

山田中竣工

山田中学校では工費百十万円で木造平屋十数室（五十坪）を増築中だつたが十三日設工をみたので、諸負者側から村側に引継がれた。

一千円寄附

平市新川町教員山名隆敏さんは亡母ヒロ(五五)さんの遺志により十三日、平福祉事務所に一千円を寄附した。

県猟友会

植田支部（支部長根岸忠氏）では十七日磐城市渡辺地帯で鶏鳥会を催し、十八日午前十時向小学校に於て総会を開き、前日の優秀者の表彰を行う。

竹本師出福

常磐市本喜美太夫師は新春ラジオ福島から放送される都々逸、義太夫の録音のため十八日福島市に出張する。

勿来で神社全焼
放火、損害およそ一千万円
犯人の山狩り捜査續く

十五日午前三時ころ勿来町関田地内伊勢神社外宮本殿から出火、同本殿と拝殿の二棟全焼、更に同五時ころ同神社内宮本殿から発火同本殿一棟を全焼した。附近は山林のため一時は延焼の危険にさらされたが、附近の人達や、勿来消防団員およそ百名が出動必死の防火作業で延焼はまぬかれたが損害およそ一千万円、なお原因については放火説が有力で放火犯人は附近の山林に逃げ込んだとう説もあり、植田署と勿来消防員らが出動山狩り捜査を続けている。

廃品集めて貧困兒へ
常磐の小中生ら協議

常磐市内小、中学校生徒代表約二十名が十四日長倉小学校に集まり冬休みのすごし方について次の諸事項を協議した。

◆火遊をしないこと、◆勉強の仕方◆お小使いの使い方、◆クリスマス、正月の対策◆正月の普段の遊び方の他、炭砿関係の貧困児童生徒を救うため、廃品を回収して売却して救済の手をのばすことにし健全な冬休みをすごすことにした。

常磐市湯本 公民館の青年学級委員会は十四日開き、学級活動を向上させるため主事の設置を決め、青文協会長に島崎忠好氏を選出した。

銅線ドロ挙る

平署では十四日午後八時五十五分ころ住居不定無職板橋龍(三七)を窃盗容疑で逮捕した。

板橋は同日午後六時ころ好間村大字北好間字山坊地内吉河炭砿のコンプレツサー裏側に置いてあつた同砿所有の銅線四百五十匁（時価三百円相当）を窃盗し市内薬剤師古物商山本トクエ方に売りに来た所を逮捕されたもので、平署で余罪を追求してる

湯本青年学級

常磐市湯本公民館青年学級クラブ活動は次の日程で行われる、

◆電気二月十六、二十三日、◆書道十二月十九、二十六日、◆事務十二月十九、二十六日、◆郷土史十二日二十二日◆簿記十二月二十日。

磐城市 泉小学校増築第二期工事入札は十五日午後一時市所で行う。

藤原小の入札

常磐市土木委員会では十六日午前九時から常磐市役所会議室に於て新築する藤原小学校の入札を行う

一万円寄附

常磐市議臼石初太郎氏は故母堂サダ刀自の遺志により金一万円を常磐市教育委員会に寄附した。

カバンドロ

十三日午後七時ころ平市二子目吉田カバン店店先に三人の男の客が来て品物をみていたが、同人らが姿を消してすぐ、時価三千円相当の赤革カバン一個が盗まれているのに気がづき平署へ届出た

ポンを所持する少年

内郷市高坂町桜井目雇少年A(一七)は十四日午前零時三十分ころ同町立野水野三郎方で内郷署員の職務質問に会い、ヒロポン五〇〇入れ一本、注射器一式を所持していたのが発覚し、覚せい剤取締法違反現行犯で捕まつた。

次んではポン代
湯の街荒し常磐署に検挙

常磐署は十三日、同市上湯長谷字長倉常磐炭砿努力寮ボーリング工藤田太一(三三)を窃盗容疑で逮捕し取調べている、

藤田は去る十二月二十四日午後六時ころ常磐市吹谷前田運動具店方店舗から空気銃一丁七千円を窃取したのを始め、十一月五日午後七時ころ、同市三函製靴業元井初雄さん(三七)方から男物オリ色革靴三千五百円相当、十一月十五日午後八時ころ同宇カオルバチンコ裏木戸から遊び場に浸入してバチンコ玉六十個百二十円相当を窃取

更に同日午後九時ころ同市三函セトモノ商若松作馬さん(四七)方から菜切包丁三百円を盗んだもので、計一万一千円ポン代に当てゝいた疑いで内郷署に捕まり取調べを受けている。

誰方でも安心して使える
永久線
平製線KK 電 748 1958
2丁目

平市二丁目 平信販指定商チケット ヌカタ靴店

御座敷増設 近日完成
忘年会 新年会に是非御利用下さい
（急募女中さん数名）
仲田町 みしま 電九一五番

◎神戸牛肉…
食肉は…
◎季節向：ハムとソーセージ
緑屋本店 平市一町目電五三九
緑屋支店 平市中央通り電七九四

新年会～忘年会～開花
平市田町 電1389

地下足袋 運動靴 靴 長谷川屋本店
市水の谷亀ノ尾地内畳鳥坑ズリ捨場附近から鉄コロ、四月中旬ころ湯本駅前三峯神社から鉄ビン（五百円相当）など各所でコソ泥を働いていたのが発覚し、常磐署に逮捕された、余罪もあるものとみて追及中。

コソ泥検挙
茨城県水戸市生れ、常磐市三函内田明業方無職石島明(三五)は三月初旬ころ磐城字田場坂地内水道工事現場の物置小屋からスコツプ三丁（九百円相当）を窃取した他常磐

一町目 山田質

慢自味
江戸前 割烹 小料理
◇仕出し承ります◇
和洋食 特製支那そば
◇出前迅速◇
求料理見習 16才…20才位
やかな 才相小路電395

◎皆様に親しまれて 綿は ◎便用される
平市新川町電422

極楽行の大型靈柩バスが出來ました…
御葬儀の際は御利用下さい
他に宮型靈柩車も有ります
造花博士 山田信次
平市四丁目本局前

雛壇一切 幕張自動車 造花仏具
山光堂商店
第一営業所 本局前 電 五五〇番
第二営業所 公園下 電 一〇四三番
第三営業所 小名浜 電 三一一番

厚生指定医療病院
竹林病院
整形外科 内科 外科 レントゲン科 理学診療科
院長 竹林貞守
医長 高津洋
医員 永沢道子
薬剤師 山田明
レントゲン技師 永見吉三
事務長 根本松